

はしがき

本書は、財団法人法曹会発行の「法曹」誌に「法整備支援に学ぶ—外から見直した日本の法制度—」と題して、平成18年6月号から平成19年1月号までの8回にわたり連載されたものを取りまとめたものである。執筆者は法務省法務総合研究所国際協力部が携わっている以下に示す東南アジア及び中央アジア諸国に対する法整備支援の現場で活動している同部職員（部長・教官）及びJICA長期派遣専門家としてベトナムやカンボジアに派遣され、現地で活躍している検事及び裁判官出身者である。

実際に法整備支援活動に関われば、日本の法制度の歴史的経緯を見直し、ふまえた上でなければ日本の法制度の中から真に技術移転すべき点を見いだすことはできず、また、し烈なドナー間競争や膨大な国際条約・モデル法・地域協定等の中で被支援国のニーズに応える支援をするためには、現代の国際的な法環境を学ぶ必要もあり、その中から自ずと日本の法制度が国際環境の中で取り残されている部分も見えてくるはずである。本書は、国内で実務に携わっているだけでは触れることのなかった時間軸と座標軸の中で日本の法制度を学び直し、見直したことについて、被支援国での体験談を基に、分かりやすく興味をもっていただけるエピソードを紹介したものである。それゆえに法整備支援活動の生の声が聞こえてくるようである。

本書が関係者にとって、法整備支援について御理解を深めていただく一助となれば幸いである。

